



1873→2025

たすけあい かたりあい わかりあい しんじあい

# 高鷲小学校だより

令和7年度 8月号

令和7年7月18日  
羽曳野市立高鷲小学校  
発行：校長 小島 博之

## 七夕に想う

今年の夏も地域から頂いた笹やオリジナルの工作により、高鷲小学校各フロアで七夕飾りがつくられました。ボランティアルームの皆様や校務員さんにもご協力いただき、季節感あふれる飾りに重ねて、日に日に増えていく高鷲っ子の短冊。定番の「〇〇がほしい」「〇〇になります(できます)ように」など、実に素直なお願いごととあわせて、「絶対に〇〇をする!」など強い決意を感じられるもの、家族や友達の健康や幸せを願う心優しいもの、世界や宇宙の平和を祈る壮大なスケールもの、「お米が安くなりますように」切実なものなど、ほっこりしました。「えがおですごしたいです」「いつもの幸せがもっと大切になりますように」など高鷲っ子の「言霊」とともに、短冊を書いて笹に結ぶ高鷲っ子の嬉しそうな表情をみて、あらためて「学校っていいなあ」と感じました。



## ◆「たかわし」を大切に～「【た】すけあい」+「【か】んがえてうごく」→ひとを想う高鷲っ子

7月16日は1学期最終のクラブ活動。暑さ指数何とかクリアで実施した運動場の2つのクラブでしたが、なんと急な強い雨のため体育倉庫前の軒下に避難。天を仰ぎ途方に暮れていると、体育館から「一緒にする?」天の声。バドミントンと卓球に急遽「臨時入部」して、みんな和気藹々と楽しい時間を過ごせました。

もうひとつ。7月17日大掃除。ドアの外から「校長先生～緑めくっていい?」と声がしたので校長室から出てみると、玄関掃除に来た3年生が、出入口の緑色の大きな足ふきマットを小さな手で「もうめくってるで～」。「みんな毎日通るから」と数か月分の砂埃と雨続きの泥をほうきとちり取りで集め、「つまようじ貸して～」と隅までピカピカに仕上げてくださいました。

ひとを想う粋な高鷲っ子に1学期も大感謝です。



◆8・9月行事予定(10月主なものは裏面に掲載しています。ご確認よろしくお願ひします。

7月の個人懇談ありがとうございました。あわせて、授業アンケートへのご協力に重ねて感謝申し上げます。お子さまの成長を共通理解しながら、より良い学校や授業づくりを進めてまいります。

明日から夏休みですが、5年生は来週7月23・24日には林間学舎です。一泊二日で洞川(奈良県天川村)にて自然体験学習をします。ご準備や体調管理等よろしくお願ひいたします。

2学期早々8月28・29日及び9月1日に夏休みの作品展(全日13時~16時体育館にて)、9月9日にフリー参観を実施します。高鷲っ子の力作やひと夏を経て一層たくましくなった様子をぜひご覧ください。9月12日(3~6年)・19日(1・2年)には万博に行きます。運動会(10月18日(土)開催)において練習も始まります。さまざまなご準備をお願ひしますが、ご協力のほどお願ひいたします。

## やってみてわかる、学びが自分事になる

1年生の国語で「おおきなかぶ」を学習します。教室で教科書を読んでいるのですが、重たいものを引く経験に乏しいためなかなかリアリティある読み方につながりません。そこで7月16日に生活科で畑の植物観察の傍ら、「おおきなかぶ」に見立てた土袋引き体験。最初の「おじいさん」から始まって、「おばあさん」+「まご」+「いぬ」+「ねこ」+「ねずみ」と、高鷲っ子が自分たちで話をすすめながら「うんどこしょ、どっこいしょ」。どんどん声が重なっていき、リアリティ溢れます。「なかなかかぶはぬけません」そこでなんと7人目が登場。教科書にない「ぞう」「あり」など、たかわしオリジナルの創造豊かな楽しいお話をつくっていました。高鷲っ子の体と頭をいっぱい使った自分事の学びが畑に実りました。



2年生が夏野菜としてミニトマトを育てる傍ら、校務員さん・支援員さんのお力添えて立派なスイカを育てました。7月17日は待ちに待ったスイカ割り体験。高鷲っ子2年生総がかり交代でたたいてもたたいてもなかなかスイカは割れません。応援の声から歓声がかどましたのは最後の方。「はじめてやった!」

「スイカがあんなに硬いとは…」  
おいしくいただきながら体験が自分の経験値となりました。



## ◆「たかわし」を大切に~「みんな大切な高鷲っ子 みんなで見て みんなで育てる」

7月某日に地域の方がご来校されました。散歩がてら校区の公園の掃除をされており、その際、「ぼくも手伝うよ」と一緒にゴミを拾ってくれる高鷲っ子がいることをお伺いしました。地域の方の「高鷲愛」と日頃のご支援や見守りへの感謝とともに、学校の中で一所懸命掃除をしたり窓開けやスリッパ並べなどしてくれる高鷲っ子の姿と重なり嬉しくなりました。一方、なんで毎日こんなにゴミが捨てられるのかなあとのお話もありました。

地域で過ごすことが多くなる長い夏休み。ゴミを捨てないなどのルールやマナーとあわせて、自分たちの住む街や遊ぶ公園をきれいに使うなど、自分たちができることから、地域の一員としてよりよい高鷲(世の中)をつくっていく、そんな高鷲っ子(人)が増えてくれたら、とても嬉しいです。

